

# 21日土から萩・椿まつり

## ステージイベントや大抽選会など

城下町・萩に春の訪れを告げる「第43回萩・椿まつり」が、21日(土)から3月22日(日)まで、笠山の椿群生林で開かれる。自生する約2万5000本のヤブツバキは、例年2月中旬から3月下旬頃見頃を迎える。期間中の土日祝日には、椿みどころ案内人によるガイドやクイズラリーなど、様々な催しが行われる。

萩・椿まつりは、笠山の虎ヶ崎にある椿群生林のヤブツバキの見頃に合わせて旧萩市時代に始まり、今年で43回を数える。期間中の土曜、日曜、祝日の合計12日間は様々なイベントが予定されており、美しい可憐な花とともに来場者を楽しませる。

指定されており、優雅な所作の舞と多彩な囃子が見どころ。

翌22日(日)には、たたら製鉄遺跡をテーマに製鉄炉の炎の力強さをイメージした福栄の大板山たたら太鼓の演奏が予定されている。他にも、萩光塩学院書道部のパフォーマンズやむつみ神楽舞、ギターの弾き語り、よさこい演舞など様々なステージイベントが日替わりで繰り広げられる。

初日の2月21日(土)には、午前11時からのおープニングセレモニーに続いて地元の越ヶ浜郷土芸能保存会による昇殿 巫女(みっこ)の舞が披露される。市の無形民俗文化財に

例年好評なのが、椿みどころ案内人による無料ガイド。また餅



「TSUBAKI」のモニュメント

案内人による無料ガイド

笠山椿群生林(椿のじゅうたん)



の着物を着た萩椿小町によるおもてなしも人気。椿の苗木や飲食物など、地元の特産品販売もある。また、後日抽選で特産品や椿グッズがもらえるインスタキャンペーンや「TSUBAKI」モニュメントの設置など、写真映えを意識した企画のほか、萩椿クイズラリーもある。

「羽田の航空券やお米など豪華景品が当たる大抽選会が行われる。会場受付で配布する整理券があれば誰でも参加可能。この他にも、トゥクトゥクの無料乗車体験(2月21日・23日)など限定開催の催しも多数。期間中の土日祝日は会場近くの駐車場が有料になるため、越ヶ浜市営駐車場からの無料シャトルバスが便利。午前9時半から午後4時の間随時運行する(平日の運行は無し)。

## 笠山椿群生林とは

約2万5000本のヤブツバキ群生林がある笠山は、約8800年前の噴火できた火山。萩城から北東の方角(鬼門)にあるため、藩政時代には伐採や狩猟が禁止されていた。そのため、山頂を除いた島全体が常緑広葉樹の原始林として大木に覆われていたという。

明治維新後、伐採の禁が解かれたことで、笠山の開墾が行われ、雑木類を薪にしたことで原始林に手が入っていた。

当時、大波が寄せると波が浜を越すことからその名で呼ばれるようになった「越ヶ浜」は、北前船が寄港するなど天然の良港として賑わっていた。

昭和45年にこの地を訪れた薬学博士で椿研究者として知られる渡邊武氏は、適切な整備を行えば椿群生林として観光地になると提言。以来、萩市が雑木の伐採や観光道路の整備などを行ってきた。こうした歴史を経て、笠山全体が多数の特殊群落や特殊植物を有する貴重な場所となった。